

しろやま

【学校教育目標】

学校HP QRコード→



ふるさとを愛し、21世紀をたくましく生きぬく子どもの育成

御船小学校 学校便り

令和5年11月21日(火)

文責：校長 濱本竜一郎

御船小 2学期人権学習旬間～6年生の人権学習～

10月18日(水)～11月27日(月)を人権学習旬間としています。

これまでも、学校だよりで、11月8日(水)にオンラインで行った児童集会(人権委員会)についてもお知らせしてきました。

本日は、6年2組(担任:佐々木雄亮先生)で人権学習がありました。

授業は、代表委員会で決定した「御船小人権目標」である「いじめゼロ ♡みんなでふやそう ふわふわ言葉 ♡相手の気持ちを考えよう」の確認から始まりました。

そして、今日のめあてである「いじめをなくすために、わたしにできることは何？」について考えていきます。

いじめられて泣いている子がいるクラスでの会話が題材です。直接的加害者、間接的加害者、傍観者など、様々な立場の14名の子供の意見がスクリーンに紹介されます。それを見ながら、6年生が「ひどい。」「自分のことを正当化している。」など、14名の子供の意見に反対意見が次々と出ました。

「いじめは、直接言ったりしたりする人だけの責任ではない。なぜだと思う。」と佐々木先生が問いかけると、「**見ているだけでも、いじめと同じ。」「見ているだけだから自分はいじめをしていないというのではなく、自分でいじめを止めようとしていないから。」**子供たちはちゃんとわかっています。

佐々木先生は、授業の終わりを、きれいな言葉でまとめようとはしませんでした。「どれもこれも素敵な言葉。でも、自分の経験からそう簡単なことではない。難しい。思っているけど、できなかった経験が先生にもある。」佐々木先生はそう言って、今思っていることをノートに書かせて、授業終了のチャイムが鳴りました。

「自分自身を問い続ける」大事な節目となる授業でした。



人権委員会の取組～いいところ見つけようキャンペーン～

人権旬間に併せて人権委員会が、「いいところ見つけようキャンペーン」を行っています。御船小でよい行いをした人を見つけ、人権委員会に伝え、給食時の放送で紹介するという取り組みです。

放送されたいくつかを紹介します。

- 「(6年 古閑愛梨さんは) 体育の時間、けがをした人に寄り添ってあげていたので良いと思いました。なので、わたしも思いやりを大切にしたいです。」(6年 宮部稟子より)
- 「(3年 藤元大地くんは) 終わっていないことがあると、いつも『いっしょにしよう。』って言うってくれる。」(3年 丸山修平より)
- 「2年 川部凜子さんは) いつもにこにこしているりんこさんは、やさしいとおもいます。みんなにやさしくて、おこるときはちゃんとおこって、まじめだとおもいました。」(2年 荒川紫乃)